



年間予定 平成27(2015)年度

詳細は、当館ウェブサイト、チラシ、市民しんぶんなどで順次お知らせします。

学校歴史博物館 検索

展示

企画展 平成26年12月20日(土) - 平成27年3月29日(日)

京都の高等女学校と女学生



ダンスオブウェーブス 大正15(1926)年 市立第二高等女学校

発表会 4月2日(木) - 4月6日(月) 日本画教室 作品発表会

短期展示 4月9日(木) - 4月21日(火) 収蔵品展 学校を飾った風景画

企画展 4月25日(土) - 6月30日(水)

日本画開拓の時代 - 明治を生きた 京の絵師 -



今尾景年《栗小禽図》

催し ※参加申込が必要です。

子ども体験教室(小学生対象)

夏休み開催予定

- 明治の小学校 書写教室
- 博物館たんけんたい
- おもちゃの手作り教室
- にほん画に挑戦!

冬休み開催予定

- 親子で和風作りに挑戦!
- ※小学生と保護者対象

平成27年3月1日(日) 午後2時-3時30分 講演会
「京都における高等女学校のあゆみ」
講師: 和崎 光太郎 (当館学芸員)

平成27年5月24日(日) 午後2時-3時30分 講演会
「京都の明治美術再考」
講師: 原田 平作氏 (美術史家)

その他各企画展のテーマに沿った講演会を開催予定

教室・講座(一般対象)

第3[火] 午後2時-3時(8月を除く)

上村淳之館長談話室

[月] 午後2時-4時

唱歌・童話教室

[火] 午前10時-12時30分

はじめての日本画

[火] 午後2時-4時30分

日本画教室

[木] 午後2時-4時

初級者のための合唱教室

[金] 午前10時-11時30分

古文書を読む ※9月・2月に開催予定

[金] 午後2時-4時

描いてみよう!日本画

2月頃開催予定

日本刺繍教室

京都市学校歴史博物館

〒600-8044
京都市下京区御幸町通仏光寺下る橋町437
TEL: 075-344-1305 FAX: 075-344-1327
http://kyo-gakurehaku.jp/
rekihakujigyou@edu.city.kyoto.jp

当館は、京都の学校の歴史に関する資料の保存・研究・展示をすすめる博物館です。正門・石壁は、国登録文化財。



開館時間 午前9時 - 午後5時(入館は4時30分まで)

休館日 水曜日(祝日の場合は翌平日)、12月28日 - 1月4日

入館料 一般200円(160円)、小・中・高生100円(80円)
※()内は20名以上の団体料金
※京都市内の小・中学生は土・日曜日の入館無料

交通案内
◆阪急電車「河原町」下車 徒歩約10分 10番出口より南西へ
◆地下鉄烏丸線「四条」下車 徒歩約12分 5番出口より東へ
◆京阪電車「祇園四条」下車 徒歩約15分 3番出口より南西へ
◆市バス「四条河原町」下車 徒歩約10分 南西へ
◆市バス「河原町松原」下車 徒歩約5分 北西へ
※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。



京都市学校歴史博物館だより

学歴博しんぶん



Vol.29

発行:平成27年2月 京都市学校歴史博物館

開催中 企画展

京都の高等女学校と女学生

平成26(2014)年12月20日(土) - 平成27(2015)年3月29日(日)



大正9(1920)年



昭和6(1931)年頃

府立第二高等女学校

高等女学校とは、昭和23(1948)年まであった、女子中等教育の学校です。しかし、高等女学校とはどんな学校だったのか、生徒は学校でどんな服装ですごし、どんな教科を学んでいたのかなど、今日ではあまり知られていません。そこで本展では、京都市における高等女学校の様子と、そこに通った女学生に関する資料を展示いたします。明治・大正・昭和戦前期の「女学生文化」を、ぜひご覧ください。



学芸員 和崎 光太郎



袴に靴 大正11(1922)年頃 精華高等女学校



市電停留所「堀川薬師(女学校前)」 昭和17(1942)年 市立堀川高等女学校 ※現 市立堀川高等学校の地



これからの展示



短期展示

収蔵品展

学校を飾った風景画

4月9日(木) - 4月21日(火)

市立学校が所蔵していた美術作品の中から、風景や都市の景観を描いた絵画を展示します。京都の景色や富士などの名所絵、中国の山水を描いた水墨画まで、学び舎を飾った雄大な景色の美を感じてください。



後藤貞之介《帰路》 元中立小学校蔵

企画展

日本画開拓の時代 - 明治を生きた 京の絵師 -

4月25日(土) - 6月30日(火)

前期:4月25日(土) - 5月26日(火) 後期:5月28日(木) - 6月30日(火)

明治時代、開化期を迎えた京都で活躍した画家の作品を展示します。小学校の創設、博覧会の開催など近代化の波が押し寄せる中、日本画において新時代を切り開こうとした画家たちの軌跡をご覧ください。



久保田米権《籠虎図》明治28(1895)年頃(前期展示)

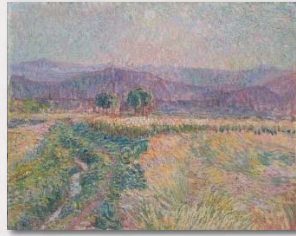


平成26年10月より常設展の中に ＜月替わり展示コーナー＞を設けました!



《開智校写生図》明治初期 元開智小学校蔵 (H26. 10/2-11/4展示しました)

京都の学校は美術品の宝庫。講堂や校長室、廊下などに飾られていた学校所蔵の作品を、月替わりで展示しています。日本画、洋画、陶磁器などバリエーションも豊富で、美しく飾られた昔の学校の姿を思い起こすことができます。



太田喜二郎《麦秋》大正3(1914)年 元桃盛小学校蔵 (H26. 11/6-12/2展示しました)



資料紹介



日本初のセーラー制服(冬服) 大正9(1920)年 平安高等女学校



日本初のセーラー制服(冬服)レプリカ 平安高等女学校(平安女学院蔵)

明治中期に誕生し、昭和23(1948)年まで続いた女子中等教育学校である、高等女学校(以下、高女)。高女の在学年齢は、主に現在の中学1年生から高校1年生、または高校2年生までにあたります。入学するには厳しい入試を突破せねばならず、教育内容は現在の中学から高校にあたります(ただし高度な裁縫の授業が必修でした)。

高女に通っていた女学生の制服は、明治期は着物や袴でした。それが大正末から昭和初期にかけて、セーラーやブレザーなど、今日のような制服へと次第に変わっていきました。左の写真は、大正9(1920)年に日本で最初に導入されたセーラー制服で、右の写真はそのレプリカです。導入した学校は、平安高女(現 平安女学院中学校・高等学校)でした。その後10年あまりの間に、市内の各高女で制服が和装から洋装に替わりました。

※この写真とレプリカは、企画展「京都の高等女学校と女学生」で展示しております。ぜひご覧ください。(3月29日(日)まで)

【学芸員:和崎 光太郎】



「こんにちは、市民学芸員です」

市民学芸員の「日誌」から、ある日の館内の様子をご紹介します。日誌では、市民学芸員の皆さんがその日に気づかれたことをご自由に書いていただき、当館スタッフとやり取りしています。

11/13(木) 今日のは団体のお客様がご来館。主事の先生が非常にわかりやすく解説をされていましたが、やはり解説して下さる方と一緒に鑑賞できるというのは、すぐに質問に答えていただけるだけでなく、新たな興味を引き出してもらえると意味でも、とても贅沢で有意義なことですね! 【市民学芸員T】



歓迎!団体観覧

お客さまの人数・目的・学年などのニーズに合わせて、オリジナルの団体観覧メニューをご提案します。



募集!市民学芸員

「市民学芸員」として、当館でご活動いただける新しいメンバーを募集中! 詳細はどうぞお気軽にお問い合わせください。



歴博には【英語版】解説書もあんだよ!



学歴博日記 平成26(2014)年 後半期

京都市学校歴史博物館での催しの様子をご紹介します。平成27(2015)年も、たくさんの皆さまのご参加をお待ちしています!

平成26年
7月14日(月)

【あしなが育英会 京都インターンシップ・プログラム】 京都市学校歴史博物館で京都の学校の歴史を学ぼう!

「あしなが育英会」主催のインターンシップが、当館において開催されました。奨学生、海外からの学生、日本の学生が力をあわせて京都の学校の歴史について学習・発表するという、新しい試みです。私の講義を同時通訳で行った後、グループにわかれて当館展示のセクションごとの解説作成に取り組みました。博物館での学びの可能性は無限大。今後も様々な学習の場として活用いただけると幸いです。

【学芸員:和崎 光太郎】



平成26年
10月17日(金)

【団体見学】 京都市立陵ヶ岡小学校3年生のみなさんご来館

京都市立陵ヶ岡小学校の3年生55名が来館。事前打ち合わせのとおり、今日の学習のテーマは「昔さがし」。「学校」をテーマに今自分が生活している学校と、145年前に誕生したころの小学校を比べての学校昔話を聞く。学校に消防や警察、区役所の役割があったことにびっくり、学年制ではなく試験に合格したら進級する仕組みにエーッ、大好きな夏休みはなかったという話にびっくり。次には、自分の目で展示物から今と違うところを10個は見つけようという学習課題に、子どもたちは元気よく飛び出して行きました。

【博物館主事:車田 秀樹】



平成26年
10月17日(金)

【新教室】「描いてみよう!日本画」スタート

芸術の秋に相応しく、基礎から学び日本画の画材を使って作品を仕上げる成人初心者対象の日本画教室(全10回)が始まりました。講師の橋田純先生のご指導のもとに15名の受講者の方々が、毎回の課題に取り組みしています。絵を描くことが好きな皆様ですのでも熱心です。これから益々、日本画の魅力に親しんでいかれ、日本画を描く楽しさを味わっていただければと思います。

【スタッフY】



平成26年
10月30日(木)

【初級者のための合唱教室】 園児さんたちへお歌のプレゼント

この日は京都市立開智幼稚園の子どもたちをお招きして、初めての発表会を開催いたしました。四季の代表唱歌を集めた「唱歌メドレー」は、練習の成果が2部合唱の美しい歌声になり、子どもたちが大好きな「たのしいね」や「もみじ」は手拍子や振付けを入れて全員で合唱しました。講師の中谷先生が「このお歌、知っている人」と問いかけられると、子どもたちは「知っているよ、はぁ〜い!」最後に受講者の皆様から子どもたちへ、心のこもった折り紙を贈りました。子どもたちは大喜び。大変心温まるひと時になりました。

【スタッフH】



平成26年
11月29日(土)

【大学連携】大谷大学「探究基礎演習」

今年度は、大谷大学の授業「探究基礎演習」の場として、当館を活用いただいています。従来と異なるのは、授業の一部での活用ではなく、ほぼすべての授業が当館を「現場」として行われている点にあります。授業内容は、荒瀬克己大谷大教授と二人の当館学芸員が連携し、受講した学生のキャリアデザイン能力を高めるもの。学生が博物館での学びや活動を通して、自ら決めたルーブリックで自己評価を行うという、斬新な内容です。11月29日はこの授業の当館での最終日でした。

【学芸員:和崎 光太郎】

